

個人山行報告書

通算山行NO	NO. 1372	報告者	後藤隆徳
年月日	2009年08月08日(土)~09(日)	2万5千	白馬岳
山名	白馬三山(白馬乗鞍岳~白馬岳~杓子岳~白馬鑓ヶ岳)		
体力度=3・普通      技術度=3・普通      道標=ある      駐車場=あり      トイレ=ある 展望度=よい      三角点=白馬岳      等級=一等      点名=白馬岳			
<b>素晴らしき天上の花園</b>			
コース とタイム	8日=下土狩駅3:30-柵池自然園発9:00-乗鞍岳-小蓮華山-白馬岳-白馬山16:30(先着は15:30) 9日=山荘5:00-杓子岳-白馬鑓ヶ岳-鑓温泉(45分入浴)-猿倉14:30(先着は13:30)		
標高差	上り・・・柵池自然園1860m~白馬岳2932m=約1072m 下り・・・白馬岳2932m~猿倉1250m=約1682m		
参加者	L後藤隆徳、近森正彦、世古悦子、土屋弥生、ほか全16名		



今夏は7月末になっても、梅雨は明けず予定されていた剣岳・早月尾根は2週連続で中止になり結局、白馬三山を上った。

三山を2日で上るのは結構厳しい。初日の下土狩発は3:30。それでも柵池自然園発は、9:00。時間的にはギリギリ。

天気は曇り。今週は晴れ予報だったが、台風8号崩れが、まだ悪さをしていた。

柵池ロープウェイは1550円。私は無料。団体割引手続きし、添乗員申請をすればOK。

無雪期の白馬乗鞍岳を上るのは初めてだった。今年4月にも上っているが、樹木の背丈を観察すると、冬の積雪の多さを改めて理解。

歩き難いゴロタ石をたどり、白馬大池に着く。山荘の周りには、白山小桜・稚児車が見事。

ここから小蓮華山は遠いが、周りは花園が延々と続き、飽きることはない。ただ、ウルップソウがやや遅かったのは残念。(写真)

三国境を過ぎれば、本峰は近い。なかなか長い尾根。1983年、ここを冬往復したが、改めて大変だったことを確認。

白馬山荘はこの時期、500円の割引期間外だが、懇意の営業マンに頼み、割引して貰った。

ここのサロンは「街」並みの素晴らしさ。ピアノもある。生ビアで交流会。たまには、小屋宿泊もいいものだ。部屋は貸切。静か快適だった。





9日は朝方小雨だったが、次第に回復。朝焼けの杓子・白馬鑓ヶ岳が感動的。

朝食は弁当で出発。弁当は粗末なものではなく、驚くほど上等なものだった。

杓子から白馬鑓の上りで、珍しい「ミヤマムラサキ」を見た。北岳で数年前見たのが最後で久しぶりだった。

この辺りの「花園」も素晴らしかった。最盛期とは言え、これだけの種類・規模の山はなかなかない。

鑓の下りで「スーパーおじさん」に会った。御年71歳。何と、笠ヶ岳から来て親不知まで行くと言う。しかも、基本的に「テン泊」。

大きなザック。この大先輩には頭が下がりました。ただ、ザックの「熊手」は何に使うの聞きそびれました。(笑)

稜線から鑓温泉に下る。白馬もそうだが、この辺はスキーでしか来ていないので、夏の荒々しさは意外。

大出原(おいでっばら)の「花園」は「凄い」の一言。白馬では最上級のところ。



雪解後の白山小桜・岩鏡・信濃金盃・深山金鳳花・駒草・千島桔梗・・・。

笑ってしまう「温泉マーク」の岩を辿れば鑓温泉。ここは標高約2000mの別天地。300円・45分・ビアつきで入浴。

女性軍も水着で入る。湯は温くも熱くもなく「川」状態でガンガン流れる。

5月はスキーで何回か入浴しているが、何もない雪山。夏はビアも売っている。

入浴後は猿倉まで長い長い。しかも道は悪い。スキーなら掛かっても1時間半だが、入浴後の4時間は辛い。

本コースは、1日目＝白馬大池(泊)、2日目＝鑓温泉(泊)、3日目＝下山が理想。鑓温泉で「ゆっくり、やりたい」ですね。